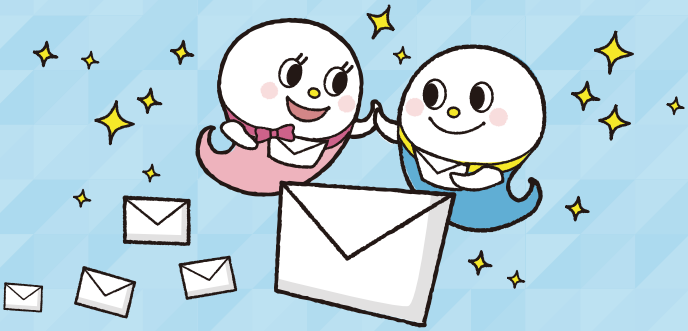
株式会社エイジア

第22期 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日



株主の皆様へ

株式会社エイジア　代表取締役

美濃和男

（※1）**クラウドサービス**：インターネット経由でソフトウェアをサービスとして利用する形式。ユーザー企業はソフトウェアが稼働するIT環境の管理や、ライセンス料等高額な初期投資等の負担なく、毎月の利用料を支払うことで安価に利用できる。

（※2）**マーケティングオートメーション**：一人ひとり異なるユーザの趣味嗜好に合わせたOne to Oneのコミュニケーション施策を自動で行うためのマーケティングツール。ユーザの属性データや行動データなどを統合して分析し、ユーザのステータス毎にコミュニケーションシナリオを設定・実行することで、従来は煩雑だったOne to Oneコミュニケーションを自動化できる。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2017年３月期は、売上継続性の高いクラウドサービス(※1)の販売や、大型案件、コンサルティングサービスの受注等により、連結売上高は前期比16.1%増の1,330百万円、営業利益は前期比20.0%増の287百万円と堅調に推移し、売上高、利益とも過去最高となりました。

当社の主力製品であるメール配信システム「WEBCAS e-mail」は、顧客満足度向上や売上アップにつながるツールとして現在多くの企業様に導入いただいております。近年はユーザのデバイス環境やニーズが変化し、「個別最適化したメッセージを」、「よりタイムリーに」、「メールに留まらない多様なチャネルで」届ける必要性が強まっています。当社はこの流れにいち早く対応すべく、既存製品のバージョンアップに加え、メールの領域に留まらない新たなソリューション開発に積極的に取り組んでおります。

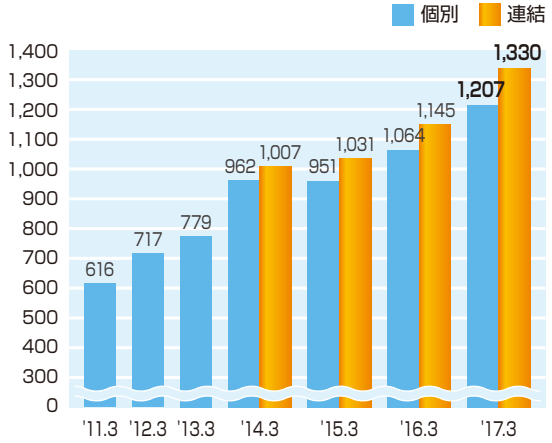
2017年３月期は、新製品のマーケティングオートメーション(※2)「WEBCAS Auto Relations」の開発およびブランディングに経営資源を投じました。「WEBCAS Auto Relations」は2016年６月に発売をいたしましたが、発売後まもなく新規受注に成功しております。本製品は今後「人工知能エンジンによるマーケティング施策の自動化機能」等の搭載を計画しており、2018年３月期も引き続き開発に注力する所存でございます。

当社はこれからも、更なる有益なシステムソリューションとサービスを提供し、企業のマーケティング活動を支援してまいります。

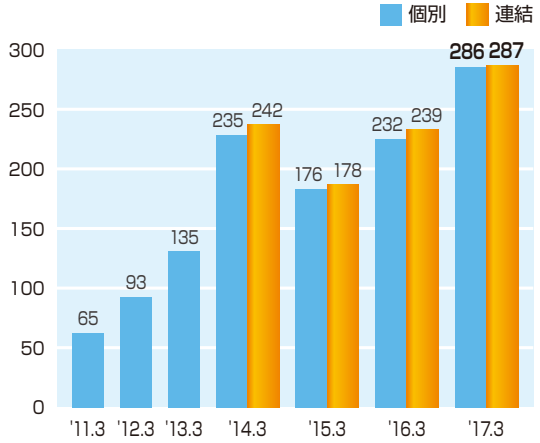
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

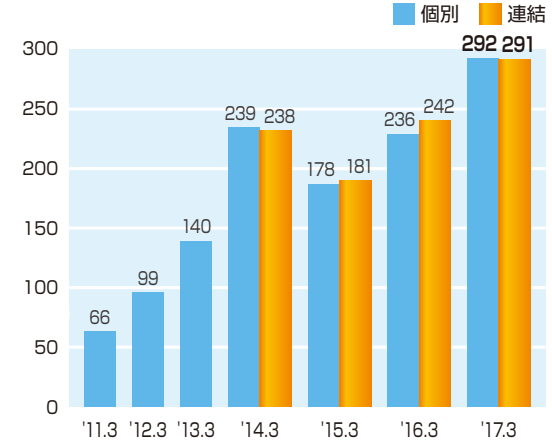
◆ 売上高（百万円）



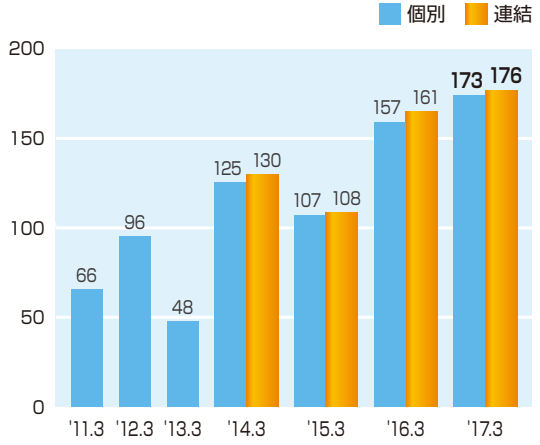
◆ 営業利益（百万円）



◆ 経常利益（百万円）



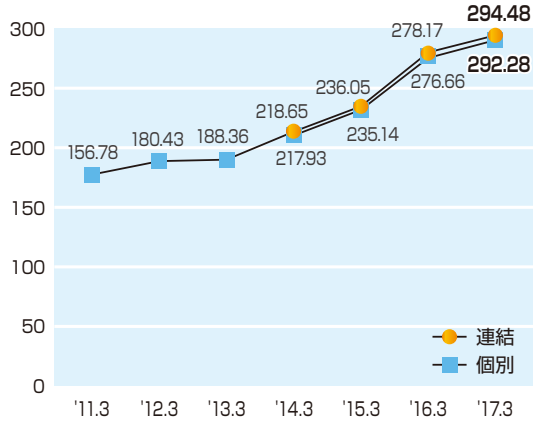
◆ 当期純利益（百万円）



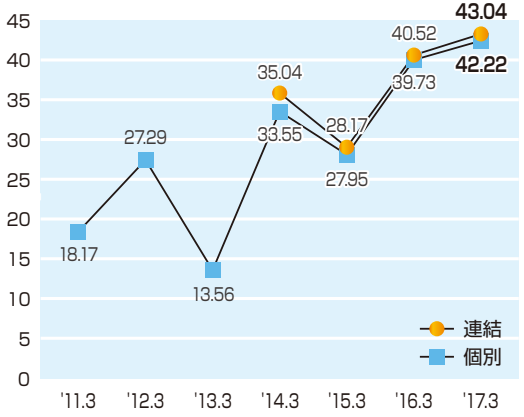
※当社は、2014年3月期より連結財務諸表を作成しております。

財務ハイライト

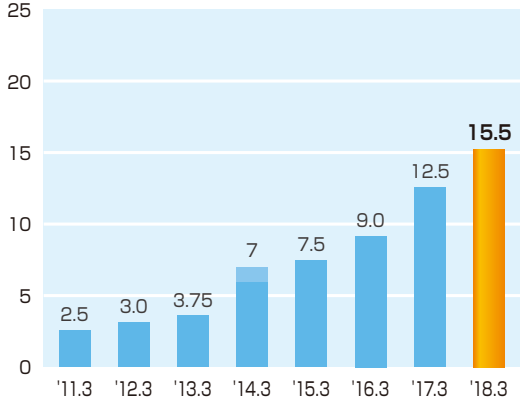
◆ 1株当たり純資産額（円）



◆ 1株当たり当期純利益（円）



◆ 1株当たりの配当実績（円）と配当予想（円）



※当社は、2014年3月期より連結財務諸表を作成しております。
※2011年4月に1株を200株に分割、2017年4月に1株を2株に分割しており、遡及修正して表示してあります。
※2017年3月期（22期）までは実績。2018年3月期（23期）は予想。
※2014年3月期は、6円の普通配当に加え、創業以来初の連結売上高10億円を上回ったことを記念して1円の記念配当を実施しております。

財務諸表

◆ 貸借対照表

〈連結〉

単位：百万円

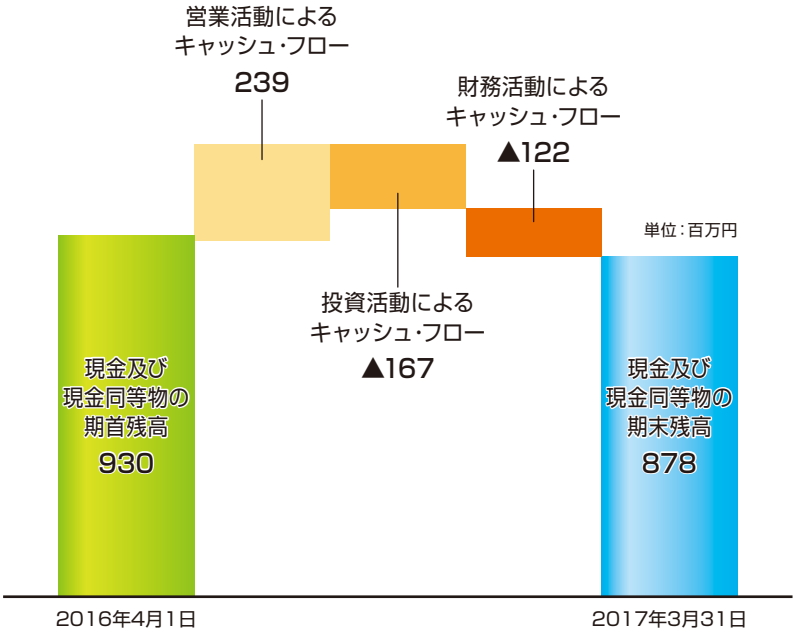
科目＼期別	21期（2016年3月31日現在）	**22期（当期）（2017年3月31日現在）**
現金及び預金	830	**778**
有利子負債	－	－
純資産	1,155	**1,206**
総資産	1,405	**1,505**

〈個別〉

単位：百万円

科目＼期別	21期（2016年3月31日現在）	**22期（当期）（2017年3月31日現在）**
現金及び預金	776	**741**
有利子負債	－	－
純資産	1,143	**1,191**
総資産	1,373	**1,471**

◆ 連結キャッシュフロー計算書

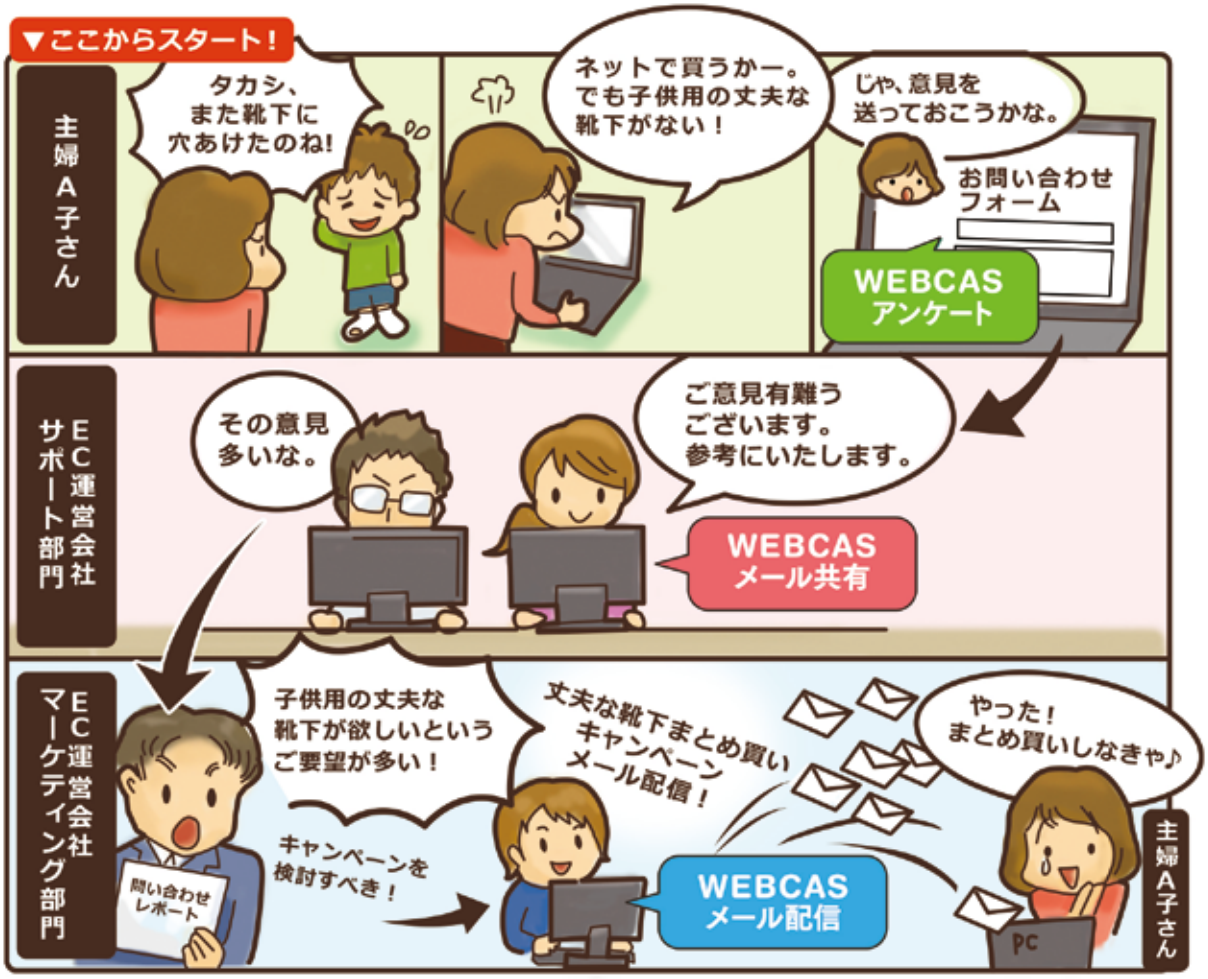


エイジアの主な製品紹介

当社主力製品である**「WEBCAS（ウェブキャス）」シリーズ**は、企業とお客様の双方向コミュニケーションを、メールをはじめとする多様なチャネルで実現できるマーケティングコミュニケーションプラットフォームです。EC（通販）運営企業、メーカー、生命保険、金融機関、官公庁など大手企業を中心に**3,000社以上**に導入いただいております。

「WEBCAS」で実現できること

多くの企業にとって、お客様の新規獲得やその後の長いお付き合いは、“信頼関係を築けるか”が重要なカギとなります。「WEBCAS」は、企業とお客様の信頼関係を構築する「双方向コミュニケーション」を実現できるシステムです。

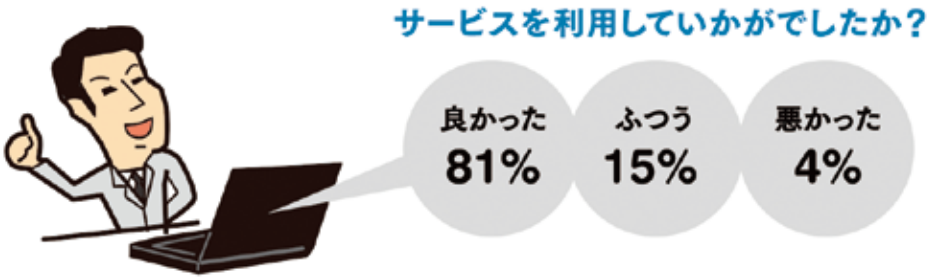


欠品商品の入荷通知を希望したお客様に、メールで自動連絡を行う

たとえば、ECサイトで売り切れのため購入できなかった商品の「再入荷通知」をお客様が希望した場合、商品入荷後すぐにメールでお知らせすることができます。これにより、売上アップや顧客満足度向上につながります。

顧客満足度アンケートを実施する

「WEBCAS」は、「商品やサービスに対してお客様は満足しているか？」等を調査する、顧客満足度アンケートをインターネット上で簡単に実施できます。回答結果はリアルタイムに確認できるので、お客様の声をスピーディーに商品・サービス改善へと活かせます。



Q. 「WEBCAS」の強みはなんですか？

A. クライアント企業様のご要望や環境に合わせ、柔軟にシステム構築できる点です。近年販売を強化している**「WEBCAS」クラウドサービス**は、他社では対応しづらい**カスタマイズに柔軟に対応できる**ため、他社クラウドサービスからの乗り換えも多数ございます。

また、クライアント企業内外にあるあらゆるデータを統合的に管理し、適切なコミュニケーションを実行できる「DMP（データマネジメントプラットフォーム）」をはじめとする多くの外部システムと連携可能なため、効果的なマーケティング活動基盤としても活用いただいております。

Q. 本年の定時株主総会で監査等委員会設置会社への移行が承認されましたが、目的を教えてください。

A. 過半数の社外取締役で構成される監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役に取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監査・監督機能およびコーポレート・ガバナンスを強化し、更なる企業価値の向上を図ることを目的としております。

Q. 2017年3月期は「製品開発の強化」、「WEBCAS Auto Relationsの販売とコンサルティング力の強化」、「クラウド事業の推進」を目標として掲げていましたが、振り返っていかがでしたか？

A. 「製品開発の強化」につきましては、マーケティングオートメーション「WEBCAS Auto Relations」および人工知能アルゴリズムを駆使したテキストマイニングシステム「WEBCAS Sense Analyzer」を2016年6月にリリースしたほか、主力製品のメール配信システム「WEBCAS e−mail」の機能拡充を実施いたしました。その一方で、売上規模の大きいカスタマイズ案件にもエンジニアのリソースを充てる必要があったため、当初予定していたその他の製品開発に遅れが生じておりますが、2018年3月期上期中にはキャッチアップできる見込みです。

「WEBCAS Auto Relationsの販売とコンサルティング力の強化」につきましては、マーケティングイベントに多数出展し認知拡大を図ったほか、株式会社電通ダイレクトフォースと業務提携を行い販売力とコンサルティング力を強化したことで、受注に成功しております。

「クラウド事業の推進」につきましては、クラウドサービスの売上が前年度比+16.8%となり、順調に拡大しております。

Q. 2018年3月期はどのような取り組みをしますか？

A. 「WEBCAS Auto Relations」および既存製品の競争力を高めるため、エンジニア採用枠を拡充し、製品開発をより強化いたします。また、引き続き売上継続性の高いクラウドサービスの拡大販売を推進いたします。

会社概要 （2017年6月末現在）

社　　名	株式会社エイジア	
役　　員	代表取締役	美濃　和男
	専務取締役	中西　康治
	常務取締役	北村　秀一
	取締役	長山　裕一
	監査等委員(取締役)	佐々木　俊夫
	監査等委員(取締役)	上野　周雄
	監査等委員(取締役)	藤本　眞吾
	監査等委員(取締役)	川名　愛美
従業員数	95名(連結、派遣社員含む)※	
設　　立	1995年4月	
資本金	3億2,242万円	
証券番号	2352	
上場市場	東京証券取引所第二部	
所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田七丁目20番9号 KDX西五反田ビル4階	
連絡先	TEL：03-6672-6788 FAX：03-6672-6805	
e-mail	azia_ir@azia.jp	

※従業員数は、2017年3月末現在

決算説明会動画のご紹介

株主の皆さま向けに、決算説明会の動画を公開しています。ぜひご覧ください。

http://www.azia.jp/ir/video

株式情報 （2017年3月末現在）

◆ 株式の状況

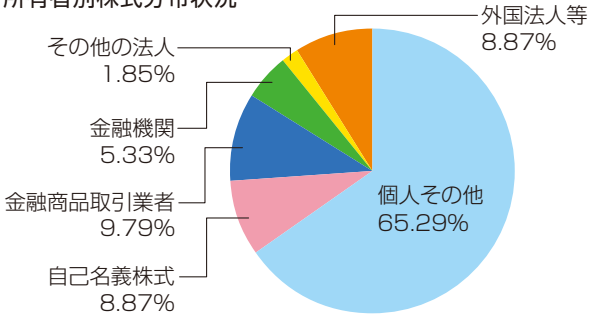
発行可能株式総数	普通株式	9,252,000株
発行済株式の総数	普通株式	2,276,200株 (自己株式201,800株を含む)
株主数		3,472名

◆ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	156,700	7.55
日本証券金融株式会社	82,700	3.98
美濃　和男	64,100	3.09
西田　徹	59,200	2.85
Deutsche Bank AG London 610	50,780	2.44
MSIP CLIENT SECURITIES	48,100	2.31
北村　秀一	47,300	2.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75960口)	36,700	1.76
株式会社システムインテグレータ	32,800	1.58
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	30,000	1.44

(注)1. 当社は、自己株式を201,800株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(201,800株)を控除して計算しております。なお、日本マスタートラスト信託銀行(株式付与ESOP信託口・75960口)が所有する当社株式36,700株は当該自己株式には含めておりません。
3. 2017年4月1日付で普通株式1株を2株に株式分割しておりますが、上記株式数については、当該株式分割による調整を行っておりません。

◆ 所有者別株式分布状況



株主メモ

証券番号	2352
事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
基準日	毎年３月31日
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページアドレス（http://www.azia.jp/）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-232-711（フリーダイヤル）

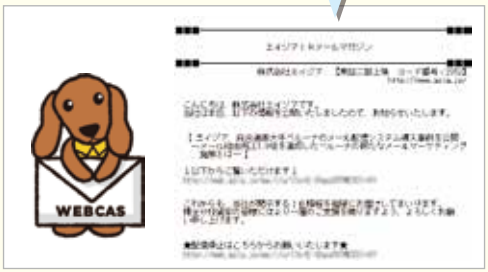
株式に関する各種のお手続きについて

1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

こちらのメールも、
当社メール配信システム
「WEBCAS e-mail」で
配信しています

IRメールマガジンにぜひご登録ください

エイジアIRニュースをタイムリーにお届けする、IRメールマガジンにぜひご登録ください。メールマガジンでは、エイジアの決算情報やIR動画配信、各種リリース、導入事例の公開等を、皆様にスピーディにお知らせしています。ご登録はIRサイトにて受け付けております。
（※パソコン用メールアドレスのみ登録可能です）



エイジアIRサイト　http://www.azia.jp/ir/